

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） ソーシャルワーク実習指導		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 保田 浩美・成川 茉由		科目コード 3022	
回数 45 回 (前期 30 回／後期 15 回)		時間数（単位数） 90 時間 (前期 60 時間／後期 30 時間)		配当学年・時期 1 年 通年		必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 本科目は、相談援助実習の意義について理解し、相談援助実習が有意義にかつ最大限の実習効果を得られるようにすることを目的とする。相談援助実習は、理論学習や相談援助演習等の延長線上で、より具体的実践的な体験ないし経験によって学習することを目的とする。また社会福祉士の知識、技術、技能さらには価値、倫理等を、現場で総合的に応用することをねらいとしている。よって本科目は、相談援助実習と一体的かつ相互補完的に実施する。							
【授業全体の内容の概要】 個別指導及び集団指導によって、ソーシャルワーク実習に関する意義を踏まえ、実習全体を把握する力を滋養する。							
【授業修了時の達成課題（到達目標）】 1. 相談援助に係る知識と技術について具体的且つ実的に理解し実践的な技術等を体得できる。 2. 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題を把握し、総合的に対応できる能力を習得できる。 3. 関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解できる。 4. 自身の目指す社会福祉士像とは、社会福祉士に必要な知識・倫理・価値・技術とは何かを説明できる。							
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】							
1 オリエンテーション				25 事前学習報告会準備			
2 実習及び実習指導の意義				26 事前学習報告会準備			
3 多様な施設や事業所における現場見学学習				27 事前学習報告会			
4 多様な施設や事業所における現場体験学習				28 巡回指導による個別指導①			
5 実習分野と施設・機関、地域社会の基本的な理解				29 巡回指導による個別指導②			
6 実習先で関わる他職種の専門性や事務に関する理解				30 巡回指導による個別指導③			
7 福祉施設等の概要【調べ学習】				31 実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理			
8 福祉施設等の概要【調べ学習】				32 実習総括レポートの作成指導			
9 福祉施設等の概要【調べ学習】				33 ソーシャルワーク実習の振り返り			
10 実習先の地域の概要理解				34 ソーシャルワーク実習の振り返り			
11 実習先の地域の概要理解				35 ソーシャルワーク実習の振り返り			
12 ソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術				36 実習報告会			
13 実習計画立案と実習プログラムについての理解				37 実習報告会			
14 自己紹介書・実習計画立案①				38 課題発見と今後の取り組み			
15 自己紹介書・実習計画立案②				39 課題発見と今後の取り組み			
16 実習指導事前訪問準備				40 事後学習			
17 実習指導事前訪問準備				41 第2回ソーシャルワーク実習の課題の整理			
20 実習計画の調整				42 第2回ソーシャルワーク実習の実習計画作成			
21 実習記録の書き方①				43 巡回指導			
22 記録の目的・書き方②				44 実習総括レポートの作成指導			
23 個人情報保護法				45 まとめ			
24 スーパービジョン							
【使用テキスト・参考文献】 社会福祉小六法2024 配布資料 「ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習」 中央法規出版				【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。			